

## プレス発表資料

平成29年10月31日  
国立研究開発法人 防災科学技術研究所

### 陸海統合地震津波火山観測網を MOWLAS (モウラス) と命名し、本格的な統合運用と周知啓発活動を開始

防災科学技術研究所(理事長: 林春男)は、「災害に強い社会の実現」を目指し、地震や津波、火山の観測を行ってきました。陸域においては、約2,000点の地震観測網を整備し、さまざまな「揺れ」を観測するとともに、16の火山の活動も観測しております。また、海域においても地震と津波の早期検知・情報伝達を目的として、観測網を整備・展開しております。

この度これら全国を網羅する陸と海の各観測網の本格的な統合運用を11月16日12時より開始する予定です(別紙報道発表資料参照)。また以前より募集しておりましたこの「陸海統合地震津波火山観測網」の愛称を「MOWLAS」(モウラス)と名付けました。この機会を捉えて、国民の皆様に「MOWLAS」をご理解いただき、地震・津波・火山による災害において「MOWLAS」がどのように活用され、防災・減災にどのように役立つか知っていただくことを目的として、シンポジウムなど様々な周知啓発活動を実施いたします。

本件配布先: 文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会

## 「MOWLAS」(モウラス)とは

防災科学技術研究所は、平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災を契機として、日本全国の陸域において強震観測網(K-NET・KiK-net)、高感度地震観測網(Hi-net)、広帯域地震観測網(F-net)の整備、運用を行ってきました。約2,000点の地震観測網を整備し、人体に感じない微弱な振動から大きな被害をもたらす強震動に至るさまざまな「揺れ」を全国均一かつ高密度に観測しております。また、陸域の16火山について基盤的火山観測網(V-net)の整備、運用を行っており、その活動を観測しております。

さらに、平成23年3月に発生した東日本大震災を受け、海底を震源とする地震と津波の早期検知・情報伝達を目的として、日本海溝海底地震津波観測網(S-net)を北海道沖から房総沖までの海底に整備、運用し、加えて平成28年4月には、海洋研究開発機構(JAMSTEC)が紀伊半島沖から室戸岬沖にかけて整備した地震・津波観測監視システム(DONET)が移管されました。

これら全国を網羅する陸と海の各観測網の本格的な統合運用を開始するにあたり、その「陸海統合地震津波火山観測網」の愛称を公募いたしました。応募総数126件(愛称99件、シンボルマーク27件)の中から選考により、神奈川県横須賀市在住の浜口直樹様からご提案いただいた「MOWLAS」(モウラス)と名付けました。

「MOWLAS」: “Monitoring of Waves on Land and Seafloor” の頭文字をとったもの。

同時に募集しておりましたシンボルマークについては、愛称のイメージにあうふさわしい作品がなかったため、事務局において下記のとおり作成させていただきました。



シンボルマーク

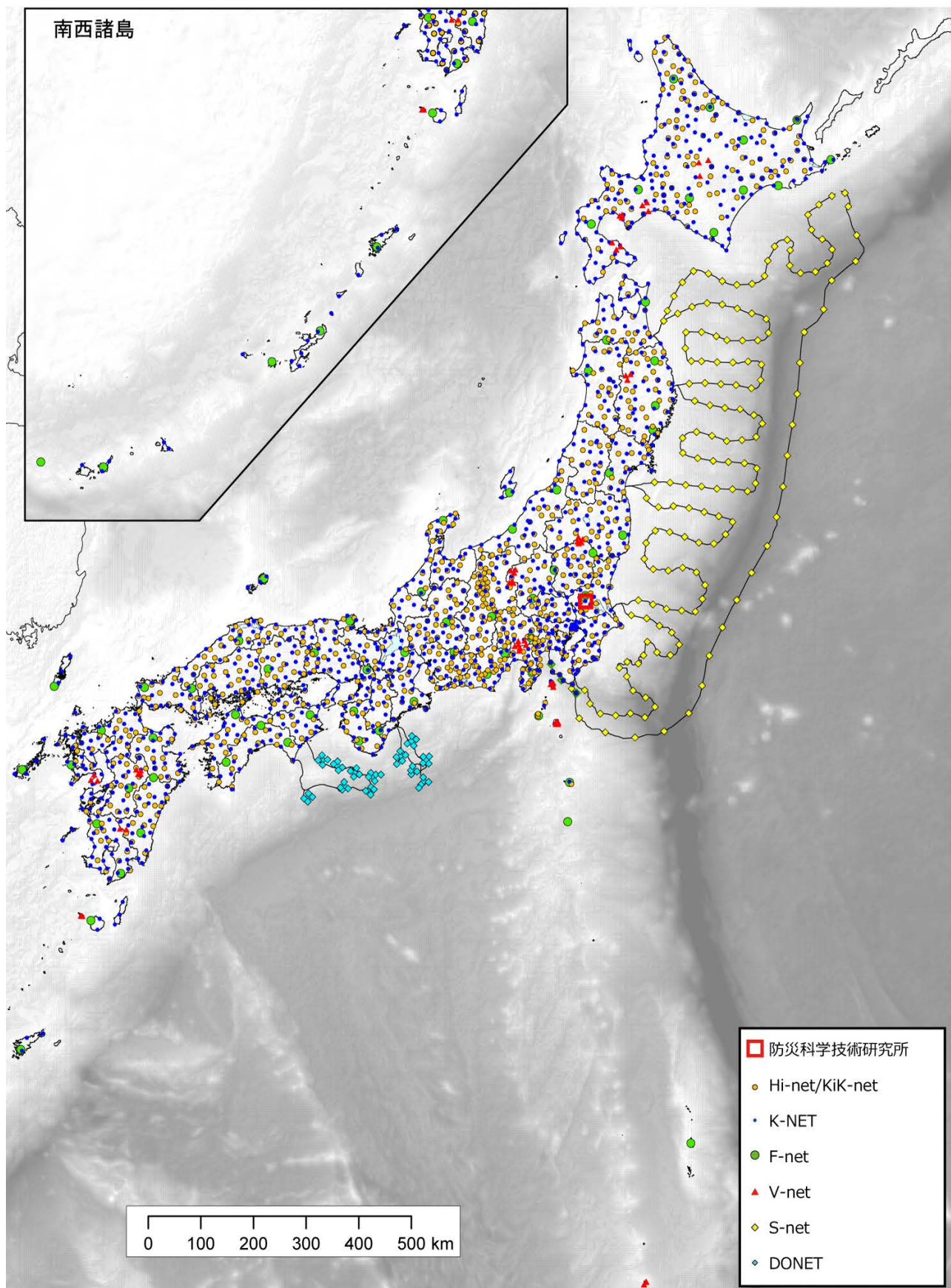
シンボルマークをご使用される場合は、目的など記したメールにて申請(toiwase [AT] bosai. go. jp) ください。内容を審査させていただき、適切な使用と認められる場合は、データを送付させていただきます。(※メールアドレスの[AT]は@に変換してください。)

観測網一覧

観測網 (括弧内は各観測網の名称)	内容
高感度地震観測網 (Hi-net)	人が感じない微弱な揺れまで記録するため、全国約 800 ヶ所の地下 100m 以深に設置した高感度地震計で構成される観測網
強震観測網 (K-NET・KiK-net)	被害を及ぼすような強い揺れを確実に記録するため、全国 1000 ヶ所以上の地点に設置した強震計で構成される観測網
広帯域地震観測網 (F-net)	様々な周期の揺れを正確に記録するため、全国約 70 ヶ所の横坑の奥に設置した地震計で構成される観測網
基盤的火山観測網 (V-net)	マグマの蓄積・移動から噴火に至るまでの一連の過程を観測するため、国内の 16 火山に設置された観測網
日本海溝海底地震津波観測網 (S-net)	地震津波防災のためにリアルタイムでの海域の地震活動観測を可能にし、東日本太平洋沖 150 ヶ所に地震計と津波計等で構成される観測網
地震・津波観測監視システム (DONET)	南海トラフの地震、津波を常時観測監視するため、紀伊半島熊野灘沖から、四国室戸岬沖の海底約 50 ヶ所に設置した地震計等で構成される観測網

(※薄い茶は陸域の観測網を、薄い青は海域の観測網を表す)

# 防災科学技術研究所 地震津波火山観測施設分布図



## 周知啓発活動の概要

### 1) シンポジウム「地震津波火山災害に強い社会を目指して」～全国を網羅する陸海統合観測網の誕生～

講演の他にビデオメッセージやパネルディスカッションも交え、国民の皆様には「MOWLAS」をご理解いただき、地震・津波・火山による災害において「MOWLAS」がどのように活用され、防災・減災にどのように役立つか知っていただくことを目的として、11月29日(水)に下記のシンポジウムを開催します。

来るべき南海トラフ地震や首都圏直下地震に向けてどのように備えるかを会場の皆様と考えていきたいと思っております。

つきましては、募集告知の協力を報道機関の皆様をお願いする次第です。

なお、チラシも添付させていただきましたので、こちらをご参照いただくと幸いです。

日時 : 平成29年11月29日(水) 13:30～17:00

会場 : イイノホール

(〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング4階)

主催 : 国立研究開発法人 防災科学技術研究所

#### 講演

総合司会 眞鍋 かをり (タレント)

全体概要説明 青井 真 (防災科学技術研究所  
地震津波火山ネットワークセンター長)

基調講演 長谷川 昭 (東北大学 名誉教授)

#### ビデオメッセージ

沖村 憲樹 (科学技術振興機構 中国総合研究交流センター  
上席フェロー／さくらサイエンス交流事業推進室長)

岡田 義光 (防災科学技術研究所 前理事長)

達増 拓也 (岩手県知事)

尾崎 正直 (高知県知事)

平 朝彦 (海洋研究開発機構 理事長)

#### パネルディスカッション

モデレーター 山崎 登 (国士舘大学 教授、元NHK解説委員)

パネリスト 平田 直 (東京大学地震研究所 教授、防災科学技術研究所  
首都圏レジリエンス研究センター長)

橋田 俊彦 (気象庁 長官)

向山 路一 (東日本旅客鉄道(株) 常務執行役員)

中川 和之 (時事通信社 解説委員)

林 春男 (防災科学技術研究所 理事長)



## 2) 文部科学省エントランスでの企画展示

国民の皆様には「MOWLAS」をご理解いただき、地震・津波・火山による災害において「MOWLAS」がどのように活用され、防災・減災にどのように役立つか知っていただくことを目的として、文部科学省エントランスで企画展示を行います。「MOWLAS」をポスター展示や動画で紹介いたします。また、相模湾の海底に設置した地震計などの実物大サイズの模型展示を行います。

なお、展示ブースの半分は、世界最大規模を誇る実大三次元震動破壊実験施設(E-ディフェンス)に関連した展示となっております。

期間 : 11月1日(水)～12月下旬

会場 : 文部科学省新庁舎2階エントランス

## 3) 防災推進国民大会 2017 でのブース展示

国民の皆様には「MOWLAS」をご理解いただき、地震・津波・火山による災害において「MOWLAS」がどのように活用され、防災・減災にどのように役立つか知っていただくことを目的として、東日本大震災で大きな被害を受けた東北地方で開催される防災推進国民大会 2017 において、ブース展示を行います。「MOWLAS」をポスター展示や動画で紹介いたします。

日時 : 11月26日(日)～11月27日(月) (両日とも9:30～17:00)

会場 : 仙台国際センター 展示棟 廊下

防災推進国民大会 2017

防災に取り組む様々な団体等が一堂に会して、それぞれの「自助・共助」の取り組みを紹介し合うどなたでも参加できる総合防災イベントです。様々なセッションやワークショップ、展示、体験型イベントを通して、家族連れやこれまで防災になじみのなかった方から防災の第一線で活躍されている方まで幅広い方々に来場いただき、楽しみながら防災について学んでいただける場となっております。

<http://bosai-kokutai.jp/>

#### 4) 世界防災フォーラムでのテクニカルセッション（有料セッション）

南海トラフや首都圏における地震が防災上の喫緊の課題である中、1995年阪神・淡路大震災を契機に全国くまなく整備された陸域の地震観測網、そして2011年東日本大震災後の対応や南海トラフの地震への備えとして整備された海域の観測網により、日本列島とその周辺は陸海を統合した観測網でカバーされています。防災科学技術研究所は、世界防災フォーラムのテクニカルセッションでこれらの観測網「MOWLAS」を紹介するとともに、情報の利活用や将来の展望について議論します。主に防災関係者の方を対象としております。

##### 講演者

- 長谷川 昭 （東北大学 名誉教授）  
上垣内 修 （気象庁 地震火山部長）  
林 春男 （防災科学技術研究所 理事長）  
青井 真 （防災科学技術研究所 地震津波火山ネットワークセンター長）  
植平 賢司 （防災科学技術研究所 日本海溝海底地震津波観測管理室長）  
高橋 成実 （防災科学技術研究所 地震津波火山ネットワークセンター副センター長）  
鈴木 亘 （防災科学技術研究所 地震津波火山ネットワークセンター主任研究員）

日時 : 11月27日（月） 10:45 ~ 12:15

会場 : 仙台国際センター 会議棟3階 白樫1

##### 世界防災フォーラム

国内外から防災関係者が集結し、防災の具体的なアイデアを作り出し、東日本大震災の経験を伝え、国際的な防災指針「仙台防災枠組 2015-2030」を推進するフォーラムです。

<http://www.worldbosaiforum.com/>

#### 5) その他

防災科研の一般公開や様々なイベントなどでも広報活動を展開してまいります。